

太田フィルハーモニー交響楽団 第13回 演奏会



ota
philharmonic
orchestra

指揮：田部井 剛

日時／2011年2月27日(日)

開場／13:30 開演／14:00

場所／伊勢崎市境総合文化センター 大ホール

曲目

J.シベリウス／交響曲第2番 二長調 作品43

G.ビゼー／「アルルの女」第1・2組曲

入場料：500円（高校生以下 無料）

全席自由・当日券あり

※未就学児の入場は、ご遠慮くださいますようお願いいたします。

主催：太田フィルハーモニー交響楽団

後援：太田市教育委員会

お問い合わせ：090-5819-1453（梅沢）

URL：<http://otaphil.symphonic-net.com/>

プレイガイド：伊勢崎市境総合文化センター 0270-76-2222

鈴木楽器(株)太田本町店 0276-22-7700

鈴木楽器(株)太田南支店 0276-46-5000



※駐車場が混雑することもありますので、
時間に余裕を持ってお越しください。

【ご挨拶】

本日は、太田フィルハーモニー交響楽団の演奏会にお越し頂き大変ありがとうございます。今回は、1年半振りに田部井先生を指揮者にお迎えし、団員一同張り切って練習をしてきました。

さて、オーケストラの生演奏を聴いたとき、心の底から感動するような「いい演奏」に出会える要素はいろいろありますが、今日は3つ上げたいと思います。

まずは、「音程や音の出だし、リズムがあっていること」。これは、アンサンブルの基本ですが、コンピュータが奏でる演奏では得意です。悲しいかな、太田フィルは、修行の真っ最中。

次に2番目は、「オケが鳴っていること」。楽器は、車のエンジンと同じように、ウォーミングアップが必要で、演奏を始めたばかりのときは良く響きません。気温が低くても難しいです。カんで演奏してもダメ。皆の楽器が鳴ってくると心地よい響きで遠くまで良く聴こえる音色になります。プロのオケ、アマチュアのオケに限らず演奏が始まってしばらくしてから心地の良い響きを感じられるようになってくるのがよくあります。この心地よさはCDなど録音で感じるのが難しいかもしれません。

そして3番目が大事なのですが、演奏に「魂が入っている」ことです。「だるまに目を入れる」とか、「画竜点睛を欠く」という言葉がありますが、同じように、それぞれの演奏者が、どれだけ心を込めて「歌えるか」によって、聴いている方々に訴える力が大きく変わってきます。

最近、これまで何回も聴いているアマチュアオーケストラの演奏会に行ったとき、4番ホルンの素晴らしい演奏を聴き、とても感動しました。そのオケは、なかなか上手で、練習もしっかりやっているので「良い演奏」をしてくれるのですが、これまで「心の底から感動した」印象はほとんどありませんでした。でも、その本番は本当にいいなあと感じました。その数分間の演奏は、音程がぴったり合っているわけでもなく、演奏技術がプロのように上手でも無く普通レベルのアマチュアレベルでしたが、謙虚に、真剣にしっかりと優しくしかしどうと歌を奏でていました。多分、何十回、何百回も練習したのだろうと想像できました。本当に魂が入っていました。

太田フィルは、そんな演奏を目指したいと思っています。百発百中というわけにはいきませんが、一回の演奏会で、なん箇所かでもそんな演奏ができたらなあと思います。さて、今夜はどうなることか？

どうぞ今日もお楽しみいただければ幸いです。

太田フィルハーモニー交響楽団
団長 大竹 実

【プロフィール】



指揮 田部井 剛

早稲田大学商学部卒業。東京音楽大学指揮科研究生修了、東京芸術大学指揮科卒業。これまでに指揮法を遠藤雅古、神宮章、武藤英明、佐藤功太郎、ジェームズ・ロックハート、広上淳一、三石精一の各氏に、ピアノを岩津章子、秦はるひ、藤田雅の諸氏に師事。

沖縄国際音楽祭出演。東京芸大在学中にはレハールのオペレッタ「メリーウィドウ」を全曲指揮。

1999年には日本フィルハーモニー交響楽団にて巨匠エリック・ハイドシェック氏とマルセル・デラノワ作曲「5月の協奏曲」を協演・指揮（日本初演）。ソリストであるハイドシェック氏は、田部井の読譜能力の高さ、また叙情的でリズムに溢れた演奏に対し、「ヤング・トスカニーニ」と讃えた。

2002年には「モーツァルト名曲コンサート」にて再びハイドシェック氏と共演、新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮。青柳いづみこ著「ピアニストがみたピアニスト」(Pianistes vus par pianiste) (白水社刊) では、そこでの協奏曲における絶妙な指揮ぶりについて著述されている。

最近では室内合奏団「カメラータ・ジオン」(Camerata Jion) を結成し、ヴァイオリニスト川島成道、チェリスト青木十良の諸氏と共演するなど積極的な活動をしている。2005年にはハイドシェック夫妻との国内ツアーを成功させ話題を呼んだ。

そのライブ録音が仏Integral Classics Franceよりリリースされている。また、カテリーナショット、宗次郎、クミコ、江戸家子猫などジャンルを問わず内外の様々なアーティストと共演し、高い信頼が寄せられている。

オペラの分野においては、團伊玖磨『ちゃんちき』、モーツァルト『フィガロの結婚』、『魔笛』など指揮し、高い評価を得た。

このほか群馬交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、東京佼成ウィンドオーケストラ等を指揮。2006年にはチェコの名門、ターリヒ室内管を指揮し、モーツァルトの交響曲をレコーディング、そのCDがキングインターナショナルよりリリースされている。今秋、日本フィルにて文化庁主催公演を指揮。

またピアニストとしても非凡な能力を発揮し、ウィーンフィル首席チェロ奏者フリッツ・ドレシャル (Fritz Dolezal) 、上村昇、勝部太、寺谷千枝子、平松英子諸氏と共演している。今春にはコントラバス奏者、白土文雄のレコーディングにチェンバロ奏者として参加、Harmony社より「モノローグ」がリリースされている。

2009年、上毛芸術文化賞受賞。

Georges Bizet : 《アルルの女》

第1組曲

I 前奏曲

Prelude. Allegro deciso (Tempo di Marcia) - Andantino - Andante molto

II メヌエット

Minuetto. Allegro giocoso

III アダージェット

Adagietto. Adagio

IV 鐘 (カリヨン)

Carillon. Allegro moderato - Andantino - Tempo I

第2組曲

I パストラール

Pastorale. Andante sostenuto assai - Andantino - Tempo I

II 間奏曲

Intermezzo. Andante moderato ma con moto - Allegro moderato

III メヌエット

Menuet. Andantino quasi allegretto

IV ファランドール

Farandole. Allegro deciso (Tempo di Marcia) - Allegro vivo e deciso

～ 休憩 ～

Jean Sibelius : 交響曲 第2番 二長調 作品43

I Allegretto

II Tempo andante ma rubato

III Vivacissimo - attacca :

IV Finale (Allegro moderato)

【作曲したひととはこんな人・曲目紹介】

ジョルジュ・ビゼー (1838～1875)

オペラの最高傑作の一つ「カルメン」の作曲者として有名ですが、本日演奏します組曲「アルルの女」も彼の不朽の名作の一つ。

南フランスの片田舎アルルという町で、妖艶な女性に一目惚れをした男が恋を成就できずに自殺する、という舞台劇。フランスの劇作家ドーデのその戯曲にビゼーが付随音楽として作曲したものの劇が大不評。作った曲には自信のあった彼は、27曲の劇中音楽の中から4曲を抜粋し今日の第1組曲に。彼の死後、友人の作曲家ギローが更に4曲を選び手を加えて第2組曲とし、珠玉の作品として今日演奏され続けています。

1838年パリ生まれのビゼーは天才作曲家のご多分にもれず、父親が音楽教師、母親もピアノが巧いという家庭環境。同じフランスの作曲家で、神童といわれた3つ年上のサン・サーンスが13歳でパリ音楽院に入ったのに対し、ビゼーはわずか9歳で入学したと云います。彼が22歳の折、大作曲家リストがあるパーティーの席上、自作のピアノ曲を披露して「この曲を完全に弾けるのは私の他にビューロー（後の大指揮者）以外にいないだろう」と言ったところへ、同席していたビゼーが初見で難なく弾いてしまい、リストをあ然とさせたという天才ぶり。

そんな天才も、最高傑作「カルメン」を作曲し大評判を得た3ヶ月後、さあこれからという37歳で天に召されてしまいます。メロディーラインが愛らしく美しいビゼーがもっと長生きしたら、後世の我々を楽しませてくれる曲をどれほど残してくれた事か、と思うと残念でなりません。

ヤン・シベリウス (1865～1957)

「シベリウスの音楽の世界には人の気配がしない」とイギリスのある批評家はその著書に書いたとか。その評が妥当かどうかは別として、シベリウスの音楽の多くが、〈森と湖の国〉といわれる故国フィンランドの、その神秘的な大自然の情景を反映しているという事には異論がないと思います。

シベリウスの生まれた1865年は、メンデルスゾーンやショパン、シューマンが世を去り、ワーグナー、サン・サーンス、チャイコフスキー、ドボルザーク等々、錚々たる天才たちが活躍する、まさに音楽史における爛熟期。生涯に7つの交響曲を世に出した彼は交響曲作曲家としての地位を、その中で最も人気の高い、本日演奏するこの第2番で確立します。交響曲というものは当時、ドイツ・オーストリア系の作曲家のお家芸である中、音楽では未開の国であったフィンランドに彼のような交響曲作曲家が出現した事は驚くに値します。

7つの交響曲のうち、第2番に次いで1番・5番・7番も今日の演奏会のレパートリーとして人気があり、バイオリン協奏曲二短調もコンサートの定番の傑作。彼の出世作といわれる交響詩「フィンランディア」は言うに及ばず「カレリア」組曲や《四つの伝説曲》より「トゥオネラの白鳥」は北歐的神秘と抒情あふれた名曲で必聴です。

前述のビゼーが37歳で夭逝したのに比べ、歴代の天才作曲家達の中では一番の長命だったシベリウス。92歳まで生きたとは言え1924年に7番交響曲を作曲して2年、数曲を発表して以降、死去までの33年間一切作曲をしなかったと云います。

天才と云えども59歳を以て天からの啓示が尽きたのかも知れません。

第13回 演奏会 出演者

ヴァイオリン 1st
 朝倉 郁子
 浅沼 郁子
 内田 幸延
 狩野 幸子
 ◎工藤 美保
 佐藤 英臣
 ◎菅原 陽子
 多賀 春美
 五位野 高吏 (賛助)
 瀧川 千春 (賛助)
 松永 錦弥 (賛助)
 山上 純子 (賛助)

ヴァイオリン 2nd
 ○井上 譲
 大野 仁子
 加藤 紗智子
 小島 昭二
 鶴間 由佳
 鈴木 美宏
 津久井 尚美
 永山 友紀
 橋本 道正
 小林 実 (賛助)

ヴィオラ
 饗庭 裕子
 ○田代 克
 横塚 清恵
 山崎 一紗
 稲葉 満 (賛助)
 川島 とも子 (賛助)
 後藤 典子 (賛助)
 中嶋 英彦 (賛助)
 吉野 玲子 (賛助)

チェロ
 黒沢 紀代子
 ○齋藤 進午
 田代 ひとみ
 松浦 静子
 山口 美枝
 山崎 美奈子
 田島 啓視 (賛助)
 丸橋 有紀 (賛助)

コントラバス
 向後 淳史
 ○日戸 正敏
 梅澤 見晴 (賛助)
 大館 妙子 (賛助)
 小林 正幸 (賛助)
 中西 秀夫 (賛助)

フルート
 上村 知道
 小池 淳子
 ♪白石 真奈美

オーボエ
 関口 史子
 ♪福島 彩
 松浦 京子 (賛助)

クラリネット
 大塩 孝
 桑原 淑江
 ♪高田 和久
 和田 智加子

ファゴット
 ♪松本 和佳子
 矢島 健 (賛助)

ホルン
 ♪秋場 裕美子
 星野 由樹
 片山 智広 (賛助)
 金子 昌弘 (賛助)
 前原 陽子 (賛助)

サクソフォーン
 光山 宗男 (賛助)

トランペット
 新井 静
 ♪大竹 実
 松本 博行
 澤口 大樹 (賛助)

トロンボーン
 ♪梅沢 慎二
 木村 彰徳
 鈴木 義幸 (賛助)

チューバ
 須藤 渉 (賛助)

パーカッション
 飯塚 牧子
 ♪大川 智
 武田 由美 (賛助)

ハープ
 小野 ゆみ子 (賛助)

◎ コンサートミストレス
 ○ パートトップ
 ♪ パートリーダー

<役員>

名誉団長 佐藤 英臣
 団長 大竹 実

コンサートミストレス 工藤 美保
 菅原 陽子
 低弦セクションリーダー 齋藤 進午
 木管セクションリーダー 白石 真奈美
 金管・打楽器セクションリーダー 秋場 裕美子

団員指揮者 田代 克
 インспекター 高田 和久
 演奏会実行委員長 松本 博行
 会計 桑原 淑江

※過去の演奏会

日時	演奏会	場所	指揮者	演奏曲目	作曲者
2008.8.2	第9回定期演奏会	太田市新田文化会館 エアリスホール	直井 大輔	交響曲 第2番 ピアノ協奏曲 第2番	ラフマニノフ
2008.12.20	ウィンターコンサート2008	休泊行政センター 多目的ホール	田代 克	第一部 アンサンブルステージ 第二部 クリスマスフェスティバル 他	-
2009.6.21	10周年記念 第10回定期演奏会	笠懸野文化ホール パル	田部井 剛	交響組曲「シェヘラザード」 組曲「惑星」より抜粋	リムスキー=コルサコフ ホルスト
2010.1.31	第11回演奏会	笠懸野文化ホール パル	直井 大輔	交響曲 第4番 組曲「仮面舞踏会」	ブラームス ハチャトリアン
2010.8.8	第12回演奏会	太田市新田文化会館 エアリスホール	風岡 優	交響曲 第3番 《英雄》 ピアノ協奏曲 歌劇《魔笛》序曲	ベートーヴェン グリーグ モーツァルト

次回演奏会のお知らせ

日時：2011年10月9日(日)
 14時開演 (予定)

場所：笠懸野文化ホール・パル (予定)

曲目：交響曲第2番 (ブラームス)
 ヴァイオリン協奏曲 (メンデルソーン)
 「ニルンベルクのマイスターズinger」
 第1幕への前奏曲 (ワグナー)

団員(楽器経験者)募集中!!

太田フィルでは一緒に音楽を楽しむ仲間を募集しています。
 現在募集中のパートは、以下の通りです。

急募：ヴィオラ、コントラバス、ファゴット、
 ホルン、パーカッション
 募集中：ヴァイオリン、チェロ、オーボエ

練習日：毎週金曜日 午後7時～10時
 練習場所：休泊行政センター 他
 申し込み：下記お問い合わせ先にご連絡下さい。
 練習見学大歓迎です!

お問い合わせ先
 電話：090-5819-1453 (梅沢)
 URL：http://otaphil.symphonic-net.com/
 E-mail：fwhv3343@nifty.com